

# 地下埋設物事故防止対策優良事業場表彰を受賞して

## 入谷駅出入口新設その他土木工事/同工事その2

株式会社熊谷組 首都圏支店  
入谷駅作業所  
所長 柏原 貴彦

### 1. はじめに

この度、土工協安全環境対策本部安全委員会委員長より優良事業場の栄えある表彰を賜り、誠に有り難く存じます。作業所職員や協力会社はもとより関係者一同、大変栄誉ある賞を頂戴したことを感謝すると共に、今後の業務へのより一層の励みになっております。

これもひとえに安全委員会地下埋設物対策部会をはじめ、発注者である東京地下鉄株式会社様、そして施工を監理していただいた、メトロ開発株式会社様並びに関係諸官庁、各埋設企業者の皆様方のご指導の賜物と深く感謝申し上げます。

### 2. 工事概要および周辺環境

本事業場は、東京地下鉄株式会社発注により、地下鉄日比谷線入谷駅のB線ホーム（北千住方面行ホーム）に非常時の二方向避難通路を火災対策整備基準に基づく整備を図るため、一般出入口及び空調機械室を新設します。また、バリアフリー対策としてエレベーター及びエスカレーターの新設並びに、現在出入口に集中している列車風の対策として列車風緩衝塔を新設するものです。工事の工種としては、杭打ち・路面覆工・埋設物吊防護・掘削・躯体築造工・既設地下鉄構築壊し・埋め戻し・埋設物復旧・路面覆工撤去・杭引き抜き・路面本復旧があります。掘削はボーリング調査の結果で、N値0～2の軟弱シルトである事から、土留めの計測管理を行ないながら、掘削の補助工法である地盤改良を段階的に施工し、経済的かつ安全

に掘削を完了いたしました。

当工事区域の周辺環境としては、国道4号線（昭和通り）と特別区道の交差点に位置する東京地下鉄日比谷線入谷駅で上野駅の隣の駅ということで、商業施設が密集していて昼夜を問わず人通り、車両交通量ともに非常に多い道路を使用しての施工となります。また、施工区域の95%が道路下になるため道路を規制しての工事が主となりますが、交通量が多い事から昼間に作業帯が設置出来ず、道路上は夜間工事に限定されます。夜間作業帯は国道の上下線を規制することから21時～5時までの作業時間での施工となります。

### 3. 地下埋設物事故防止対策

当工事における埋設物の規模及び状況は、ガス管（φ100～200）吊防護50m・水道管（φ150～300）吊防護75m・東電管（2条1段～2条2段）吊防護88m・NTT管（3条1段～5条3段、4条4段）吊防護130m・下水道管（φ250～830）吊防護46m・下水人孔吊防護1箇所・NTT人孔箱防護1箇所があり、すべて吊防護となっております。埋設物が交差点部にかなり集中しており安全対策に鋭意工夫し、作業を進めた結果、埋設物吊防護の施工開始から6ヶ月を要し、平成21年5月に吊防護が完了しております。

その他の埋設物の防護及び管理状況としては、各埋設物には、番号札、管種、管径を明示し、吊ワイヤーに錆止め防止用グリース等、怠らない様定期的に点検を実施いたしました。埋設物点検通路は埋設物が掘削区域に輻輳して

入っているため掘削面積の85%におよぶステージとなり非常時の出口表示も非常灯を設置する等、解り易く標示いたしました。

地下への出入り口部には、緊急連絡先、埋設物平面図、点検通路平面図を標示し、緊急資材、緊急避難用具も全ての出入り口に整備し配置しました。

当工事は、車両・歩行者の交通量が極めて多い道路で、多くの輻輳した埋設物に対し、杭打設、掘削、構築という各段階において、施工中の現場の変化にも対応した、打合せに基づいた施工計画通りに埋設物を防護しました。

各機関との協力体制(立会を含む)を確立し、埋設物管理者との事前の協議を十分に行い、立会いも適切に実施していただきました。また、その記録を整理し、履歴がわかるように保管いたしました。

教育・指導の実施は、土工協安全委員会地下埋設物対策部会が実施している講習会に元請職員は全員参加し、協力会社社員に対しても参加を促し、作業員全員にまで水平展開をいたしました。

地下埋設物の管理体制として、店社パトロー

ルは毎月一回実施し、現場は、毎週一回点検をいたしております。元請、協力業者が一体となって、高い意識のもとに地下埋設物事故防止に努めております。

以上のような取組みにより、工事関係者全員が一丸となって地下埋設物事故防止に努め、無事故で掘削を完了することが出来ました。

#### 4. おわりに

現在、工事は地下鉄新設部の躯体が完了し、駅内部の意匠関係の工事と並行して、順次埋め戻し・埋設物復旧・路面覆工撤去・杭引抜作業を行い、平成22年12月の地下鉄出入口の供用開始と平成23年3月の全体工事の完成に向けて鋭意施工を進めております。今回の受賞に慢心することなく、原点に戻り、今後も事故防止と環境保全を目指し、地域の皆様に理解されるよう、現場管理を進めていく所存であります。

今後とも、土工協安全環境対策本部安全委員会をはじめ関係者の皆様方には一層のご指導・ご鞭撻を受け賜りますよう宜しくお願い致します。



【入谷駅出入口新設その他土木工事／同工事その2 全景】